

大 蔵 省

日韓会談の現況(追補)

理 外
38.7.26

1 昨25日に日韓予備交渉が行われ、外相
会談に臨むための最後の意見整が行われた。
その概要は、次のとおりである。

(1) 外相会談の議題は、漁業問題、請求権
問題のほか全懸案とする。

(2) 外相会談の開催日は、第1回を26日とし、
要すれば、29日(月)に第2回会談を実施する。

(3) 上記議題の決定のあつて、韓国側は、討議
の重点を漁業協力問題におくこと、すなわち
漁業協力の供与額、供与内容を具体的に示さな
ない限り、漁業専管水域の討議には入らない
という意向を^{強く}表明した。

2 外務省は、外相会談に臨む態度を次の
ように決定した。

(1) 外相会談の議題は、表向き全懸案とするが、
討議の重点は、あくまで専管水域問題におく
こととし、韓国側が日本側の12項主張を全
否まない限り、その他の議題については、討議
には入らない。

(何らかの意思表示をせざるを得なくなった場合には)

(2) 漁業協力問題については、2マールベース

大 蔵 省

の原則に立つて ケース バイ ケース で実施する
という態度を貫く。